



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組について

1 「聖火リレー」及び「復興の火」について

(1) 東京2020オリンピック聖火リレー (R2.6.17~6.19)

ア 取組状況

- ・ 県内聖火リレー詳細ルートの決定・公表、聖火リレーランナー(岩手県実行委員会分)の一部公表(令和元.12)

イ 今後の取組

- ・ 出発式、ミニセレブレーション、セレブレーション及び沿道での盛り上げに係る取組を調整、並びにリレー実施を安全確実に実施するための詳細計画を調整する。



(2) 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル (R2.8.13~8.17)

ア 取組状況

- ・ 県内聖火フェスティバル…全33市町村で採火を発表(令和元.11)

イ 今後の取組

- ・ 組織委員会及び市町村と連携し、実施内容の詳細を検討する。



(3) 「復興の火」 (R2.3.22~23)

ア 実施内容

- ・ 「三陸鉄道」、「S L 銀河」を活用した展示イベント及び大船渡市内での展示イベントを実施

イ 今後の取組

- ・ 市町村、三陸鉄道(株)及びJR東日本(株)等の関係機関と具体的な調整を図っていく。

2 ホストタウンをはじめとする機運醸成等の進捗について

(1) ホストタウン (18市町村が登録)

ア 登録状況

- ・ ホストタウン：8市町(盛岡市、遠野市、八幡平市、紫波町、宮古市、西和賀町、一戸町、岩手町)
- ・ 復興「ありがとう」ホストタウン：11市町村(大船渡市、花巻市、陸前高田市、釜石市、野田村、宮古市、雫石町、山田町、久慈市、大槌町、二戸市)
- ・ 共生社会ホストタウン：1市(遠野市)

イ 主なホストタウン事業 (R元.9以降)

- 【盛岡市】ラグビーカナダ女子セブンズ事前合宿 (R元.9.1~8)
- 【陸前高田市】在京大使館公使を招聘してのシンガポールフェアの開催 (R元.10.5)
- 【大槌町、野田村】台湾スポーツ選手との交流、インフルエンサーによる魅力発信 (R元.11.27-30)
- 【宮古市】在ナミビア大使館全権大使と中学生の交流会 (R元.12.12)



(2) 事前キャンプ (4市町が決定)

- ・ 盛岡市(カナダ：水球、ラグビー)・花巻市(日本：ボート)、八幡平市(ルワンダ：陸上、自転車、ビーチバレー) 遠野市(ブラジル：視覚障害者5人制サッカー)

(3) 主な機運醸成イベント等

ア 旧国立競技場炬火台の常設・巡回展示 (R元.5.21~7.14)

イ 東京2020大会1年前イベント「いわてスポーツフェスタ Go for 2020」 (R元.7.27~28)



- ウ 未来への道1000km縦断リレー：沿岸市町村を縦断 (R元.7~8) ※東京都と連携
- エ オリンピックデー・フェスタ：県内5市町村で実施 (R元.7~8) ※JOCと連携
- オ 在京海外メディアツアー (R元.8.18~19) ※東京都と連携
沿岸被災地(釜石復興鶴住居スタジアム、三陸鉄道、高田松原津波復興祈念公園ほか)で実施
- カ 復興モニュメント制作に向けたワークショップ (R元.8.22) ※組織委と連携
- キ トヨタメガウェブ復興支援イベントにおけるホストタウンの情報発信 (R元.11.23~24)
- ク オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の実施 ※スポーツ庁委託事業
オリ・パラ教育推進校16校に、オリンピック・パラリンピアンを講師として招き、オリ・パラの価値を学ぶ機会を提供・支援

3 その他の取組について

(1) 東京2020大会における食材等の提供に向けた取組

ア 官民一体となった推進体制の構築

- ・ 「いわて東京オリ・パラ等県産農林水産物利活用促進協議会」において、GAP、食材利活用、花き等6つのプロジェクトチームを設置し、官民一体となった取組を展開
- ・ メダリストに授与するピクトリーブーケに本県産「りんどう」の採用が決定 (R元.11 組織委公表)

イ GAP等の取組推進

- ・ 岩手県版GAPの創設 (H29.9) や、GAP指導體制の強化により、生産者のGAPの取組を推進
- ・ 東京2020大会における食材供給に関する意向調査(第2回)において、農・畜・水産物に係る42品目のリストを提出

ウ 農林水産物の魅力発信

- ・ 政府合同庁舎8号館食堂で被災3県の食材を活用した料理の提供 (R元.7)
- ・ 県庁生協食堂でのGAP・MEL認証を取得した食材を活用した料理の提供 (R元.7、R2.1下旬予定)
- ・ 東京2020大会へ提供可能な食材を県HPで紹介

エ 東京2020大会選手村ビレッジプラザへの県産木材製品の提供

- ・ 県内の森林認証林から伐採したアカマツ材やカラマツ材を使用した木材製品の提供 (R元.10.7 第1便出荷~11.19 搬入完了)

(2) 地域の魅力発信について

ア 「三陸防災復興プロジェクト2019」 (R元.6.1~8.7)

- ・ 三陸地域全体を舞台とし、防災復興に関するシンポジウムや、お祭り・食・観光など多彩な事業により、復興支援への感謝を伝えるとともに大震災津波の教訓や三陸の多様な魅力を国内外に発信

イ 伝統的工芸品等のライセンス商品化への支援

- ・ 事業者向け説明会 (H30.12.16) を開催し、これまでに17件商品化
商品化された伝統的工芸品品目：南部鉄器(急須(1商品)、鉄瓶(5商品)、瓶敷(10商品)、風鈴(1商品))

ウ 「復興応援・復興フォーラム2020in東京」の開催 (R2.2.16)

- ・ 「復興の未来を切り拓くスポーツの力」をテーマに、東北被災4県(青森、岩手、宮城、福島)の取組や復興状況を発信するとともに、食・観光などの地域の魅力を発信
(主催：東京都、東日本大震災復興フォーラム実行委員会)

エ 東北復興プログラムへの参画(組織委員会主催「東京2020Nippon フェスティバル」)

- ・ 東京2020大会の公式文化プログラムとして、我が国の誇る文化を国内外に発信